

案

2種3種リーグ改革支援制度

1. 目的

リーグ戦文化を創る

～U-18・U-15年代の年間を通した拮抗したリーグ戦の実施～

リーグ戦導入に関する具体的取り組みを開始してから約3年が経過した今、「10年後に世界のトップ10」という大目標に再度立ち返り、その達成に向け「プレーヤーズ・ファースト」という視点に立ち「レベルに応じた(レベルの拮抗した)」・「長期間を通じて行われる定期的な(M-T-Mメソッドに基づいた)」2・3種年代のリーグ戦を整備し、リーグ戦文化の醸成を目指す。

2. 背景・現状・今後

JFAでは、2・3種年代におけるリーグ戦導入/リーグ化に関する取り組みについて、2003年度から取り組んできたことで、「負けると終わってしまうトーナメント方式」でないリーグ戦が多く都道府県で増加し、リーグ戦導入に関する取り組みは、都道府県協会をはじめとした関係者の努力により、着実に成果をあげてきた。

一方で、リーグ戦の本来の重要な要素である「レベルに応じた(レベルの拮抗した)」・「長期間を通じて行われる定期的な(M-T-Mメソッドに基づいた)」という観点では、「理想的な形のリーグが全国的に確立にされた」と言う段階には至っておらず、プレーヤーズ・ファーストという観点では改善の余地の大きいリーグも少なくない。また、リーグ形式導入に積極的に取り組んだものの、試合機会の増加を重視するあまり、試合/競技会の過多・過密日程等の弊害が新たに生じ、指導者・選手・運営スタッフ等の負担増加・過密感等が、各都道府県での次の段階の課題として生まれてきた。

「世界のトップ10」を目指しすすめてきた、「リーグ戦導入/リーグ化」の取り組みを次の段階、「リーグ戦文化を創る/拮抗したリーグ戦の実施」にステップアップし整備をしていかなければならない。

3. 取り組み事項

「レベルに応じた(レベルの拮抗した)」・「長期間を通じて行われる定期的な(M-T-Mメソッドに基づいた)」2・3種年代のリーグ戦を地域および都道府県において実施できるよう整備する。

4. 補助金

47FA リーグ運営補助金

1FA 最大 100 万円

3種(U-15)および2種(U-18)の各リーグが2007年度より展開されるFAについて、各種別に上限50万円(1FA最大100万円=上限50万円×2種別)のリーグ運営補助金を支給する。

47FA リーグ準備補助金

1FA 最大 40 万円

2007年度はまだリーグ戦が展開されていないが、準備のための会議費用等として、各種別に上限20万円(1FA最大40万円=上限20万円×2種別)のリーグ準備金を支給する。

注意：リーグ戦改革は種別内だけの改革ではないので、各種別で運営実施方法は協議するが両種別が同時にリーグ展開またはリーグ戦準備を行うものとする。よって一つの種別だけで進行しているFAに対しての補助は行わない。

- 例)・2種3種、両種別でU-15、U-18リーグが展開されている。
=「リーグ運営補助最大100万円」の補助対象
- ・2種ではリーグ戦が展開されている。3種は準備のための会議を開く予定がある。
=「2種リーグ運営補助上限50万円、3種リーグ準備金上限20万円」の補助対象
 - ・2種3種ともリーグ戦は展開されていないが準備のための会議を開催する。
=「2種リーグ準備金上限20万円、3種リーグ準備上限20万円」の補助対象
 - ・2種では既にリーグ戦が展開されているが、3種では準備する予定がない。
=補助対象にはならない。一種別だけで種別の連携がない場合は対象とならない。

U-15 地域リーグ準備補助金

1地域 最大50万円

3種(U-15)リーグが2007年度より展開されるFAについて、上限50万円のリーグ運営補助金を支給する。

5. 補助金額の決定 / 補助金額の算出基準

47FA リーグ運営補助金

下記の〔審査のポイント〕についてJFAにて検討し、金額を決定する。

- 概ね満たしている場合・・・50万円(1種別)
- 半分程度満たしている場合・・・40万円(1種別)
- それ以下の場合・・・30万円(1種別)
- 満たしている項目が無い場合・・・なし

〔審査のポイント〕

- ・年間を通じた長期的なリーグ(ホーム&アウエー実施を目指す)であること
- ・年齢カテゴリーについて、3種はU-15、2種はU-18とすること。ただし9月頃開始、翌年8月頃終了のシーズンの場合は開始時にU-14、U-17であっても良い。
- ・M-T-M実施を原則とし、集中開催(たとえば1~3節を1箇所で開催)や連戦等を極力行わないこと
- ・上位リーグ(1部リーグは必須)は節が統一されていること。(1部リーグは必須)
- ・既存の大会とのリンク(シード権等)過密日程にならないような工夫があること。
- ・階層別のリーグ戦であり、入れ替えはリーグ戦同士の入れ替えであること。
- ・(カバーエリアに関しては、1部リーグは都道府県内全体を基本とする。ただし3種年代においては考慮する。2部リーグ以下はレベルによって分割して実施できる)
- ・1クラブ(1学校)につき複数のチームが参加できる。
- ・2種においてプリンスリーグとの入れ替えがあること。

47FA リーグ準備補助金

提出されたリーグ戦設置準備に関する計画・予算(会議スケジュール、メンバー、経費等)を基に審査し、承認後は実施報告に従い、上限内で実費を支給する。

1FA 最大・・・40万円(1種別上限20万円)

U-15 地域リーグ運営補助金

下記の〔審査のポイント〕についてJFAにて検討し、金額を決定する。

- 概ね満たしている場合・・・50万円
- 半分程度満たしている場合・・・40万円
- それ以下の場合・・・30万円

満たしている項目が無い場合・・・なし

〔審査のポイント〕 ～リーグ戦開催にあたって～

- ・年間を通じた長期的なリーグ(ホーム&アウェイ実施を目指す)であること
- ・年齢カテゴリーはU-15 とすること。ただし9月頃開始、翌年8月頃終了のシーズンの場合は開始時にU-14 であっても良い。
- ・M-T-M 実施を原則とし、集中開催(たとえば1~3節を1箇所で開催)や連戦等を極力行わないこと
- ・既存の大会とのリンク(シード権等)過密日程にならないような工夫があること。
- ・地域における各都道府県との関係が明確になっていること。

6. 他支援制度(M8 リーグ戦の推進と競技会の整備・充実)との兼ね合い

【2007 年度】

既に「M8 リーグ戦の推進と競技会の整備・充実/都道府県における2・3種年代リーグの積極展開」で補助金(奨励金)を受けている場合は、その補助額(奨励金額)が本制度を越える場合は本制度からの補助は行わない。

本制度が奨励金額を超える場合はその差額を支給する。

M8 奨励金	本制度 補助金 の場合	・・・本制度での支給なし
M8 奨励金	本制度 補助金 の場合	・・・本制度補助金学 - 奨励金額 を支給

【2008 年度以降】

本制度と「M8 リーグ戦の推進と競技会の整備・充実/都道府県における2・3種年代リーグの積極展開」とを融合させる考えで検討する。

7. 応募/審査方法

別紙 申請書・様式1~5を、地域FAまたは都道府県FAから提出する。

(運営補助金申請は様式1~4を、リーグ準備金申請は様式1・2・5を提出のこと)

上記書類の審査、ならびに地域/47FA ユースダイレクターあるいは技術委員長等とのヒアリングを適宜行なった後、技術委員会。

8. 今後のスケジュール

6月18日(月): 各FAに展開、募集開始

7月31日(火): 申請締切り

9月28日(金)まで: 書類の精査、各協会へのヒアリング

10月12日(金): 技術委員会にて協議

10月18日(木): JFA 理事会にて協議 承認後各FAに補助金振込

2月末日: 報告書提出(終了していない場合はその時点まで提出)

9. 補足事項

各FAの主体性が不可欠であることから、ユースダイレクター、技術委員長等が中心となり改革、整備を進める。また、都道府県リーグの場合は、地域ユースダイレクターとも連携し、地域との関係を視野に入れ、改革、整備を行う。

JFA側の窓口(担当部署)は技術部とし、都道府県FAのカウンターパートとして協働して取り組む。

以上